

## 令和2年度 学習案内(シラバス)

教科	理科	学年	第2学年	担当者	山崎 健矢、宮崎 聡
----	----	----	------	-----	------------

### ◇ 理科の指導目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

### ◇ 1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容
6	動物の生活と生物の進化 1章 生物の体と細胞	11	地球の大気と天気の変化 1章 空気中の水の変化
7	2章 生命を維持するはたらき 3章 感覚と運動のしくみ		
8	4章 動物のなかま		
9	化学変化と原子分子 1章 物質の成り立ち	12	2章 天気の変化と大気の動き 3章 大気の動きと日本の四季
10	2章 物質を表す記号 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量	1	電流の性質とその利用 1章 電流の性質
		2	2章 電流の正体
		3	3章 電流と磁界

### ◇ 評価方法

評価の観点(身に付けたい力)		評価方法	%
自然事象への関心・意欲・態度	自然の事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探究するとともに、事象を人間生活とのかかわりでみようとする。	ワーク、レポート 観察・実験・授業の取組など	25
科学的な思考・表現	自然の事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、表現している。	定期テスト、レポート 観察・実験の取組・課題など	25
観察・実験の技能	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	定期テスト、レポート 観察・実験の取組・課題など	25
自然事象についての知識・理解	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	定期テスト、レポート 授業の課題など	25

### ◇ 学習のアドバイス

#### ○ 普段の授業の中で行うこと

授業1時間1時間を大切にし、その1時間の授業の中で最も大切なことを身につける。  
工夫してノートをとる。黒板を写すだけでなく、先生の話の中で必要なこと、興味のあることなどをメモする。  
できる限り発表をする。  
実験には進んで参加し、記録を必ず取る。結果について班で話し合う。  
器具の正しい操作を覚え安全に実験を行う。

#### ○ 家庭学習の仕方

復習を中心に学習する。(できる限り、その日の授業でやったことを復習する。)  
教科書の中で太文字になっている語句は必ず覚え、使えるようにする。  
元素記号、化学式などの記号を覚えること  
ワークは繰り返し行う。  
定期テストが返却されたら、解答の解説を受ける前に、必ずやり直してみる。